

柴崎一郎先生



講演会

豊橋技術科学大学 大学院博士課程
テラーメイド・バトンゾーン教育プログラム

「科学や技術の歴史を創った先輩に学ぶ
博士課程リーダー教育の試み」

略歴 柴崎一郎（しばさき・いちろう）

1971年 東京教育大学大学院理学研究科博士課程修了。

旭化成株式会社勤務を経て、現在、豊橋技術科学大学特命
教授。電気学会フェロー、2003年紫綬褒章受章。理学博士。

入場
無料

日時 平成 28 年 12 月 9 日（金） 14 : 00 ~ 16 : 00

会場 筑波大学 総合研究棟B 2階 204会議室

事前申込み不要

ホール素子は微小磁気センサとして、携帯電話、モーター等、至るところで用いられています。

柴崎一郎氏は、化学メーカーである旭化成においてホール素子の開発を白紙の状態から立ち上げられ、大事業へと展開されました。この業績に対し、紫綬褒章を授賞されています。また、昨年まで、豊橋技術科学大学の人材育成プロジェクトにおいて、各界の著名人を講師として迎え入れたユニークな取り組みも中心となって進めてこられました。この講演では、ご自身の企業での体験をもとに、豊橋技術科学大学での人材育成の取り組みについて紹介させていただきます。



世話人 鈴木博章 筑波大学 数理物質科学研究科長 hsuzuki@ims.tsukuba.ac.jp